

大阪広域水道企業団 平成25年度2月補正予算案の概要

予算額(収益的支出と資本的支出の合計額)

水道事業会計	平成25年度2月補正予算額	△66億36百万円	工業用水道事業会計	平成25年度2月補正予算額	△11億95百万円
	平成25年度現計予算額	719億3百万円		平成25年度現計予算額	125億30百万円
	平成25年度最終予算額	652億67百万円		平成25年度最終予算額	113億35百万円

〔 水 道 事 業 会 計 〕

上段 今回補正  
中段 平成25現計  
下段 平成25最終

事業名		事業費	主な補正理由等
収益的収支	水道事業収益	2億76百万円 412億50百万円 415億26百万円	有収水量の増(当初517百万㎡⇒2月補正521百万㎡)
	水道事業費用	△10億33百万円 380億88百万円 370億55百万円	人件費の減 入札差金による委託料、修繕費等の減 動力費の増
資本的収支	水道事業資本的収入	△1億11百万円 92億91百万円 91億80百万円	国庫補助金の減
	水道事業資本的支出	△56億3百万円 338億15百万円 282億12百万円	浄水設備改良費、施設改良費等の減

※ 単年度損益	17億3百万円 23億58百万円 40億61百万円	※消費税及び地方消費税を除いた収益的収支の差額
---------	---------------------------------	-------------------------

〔 工 業 用 水 道 事 業 会 計 〕

上段 今回補正  
中段 平成25現計  
下段 平成25最終

事業名		事業費	主な補正理由等
収益的収支	工業用水道事業収益	△46百万円 93億29百万円 92億83百万円	受水企業の使用水量の減 減量廃止負担金の減
	工業用水道事業費用	△5億11百万円 69億18百万円 64億7百万円	人件費の減 入札差金による委託料、修繕費等の減
資本的収支	工業用水道事業資本的収入	— 11億37百万円 11億37百万円	—
	工業用水道事業資本的支出	△6億84百万円 56億12百万円 49億28百万円	施設拡充費、配水管路設備工事費等の減

※ 単年度損益	5億96百万円 22億43百万円 28億39百万円	※消費税及び地方消費税を除いた収益的収支の差額
---------	---------------------------------	-------------------------



大阪広域水道企業団 平成26年度当初予算案の概要

予算額(収益的支出と資本的支出の合計額)

水道事業会計	平成26年度当初予算額	771億78百万円
	平成25年度当初予算額	709億97百万円
	平成25年度最終予算額	652億67百万円
	前年度比 (26年度当初/25年度当初)	108.7%

前年当初比 61億81百万円

- (主な増減要因) 収益的支出
- ・動力費 4億50百万円 (電気:燃料費調整単価の上昇, ガス:料金単価上昇による増)
  - ・減価償却費 21億10百万円 (みなし償却制度廃止による増)
  - ・支払利息等 △4億1百万円 (企業債利息、年賦未払金利息の減)
  - ・特別損失 15億74百万円 (減損会計導入等による増)
- 資本的支出
- ・改良費 44億73百万円 (中期整備事業計画に基づく事業費の増)
  - ・割賦負担金 △16億69百万円 (琵琶湖開発事業に係る割賦負担金等の減)

上段 平成26当初  
中段 平成25当初  
下段 平成25最終

	事業名	事業費	主な内容
収益的収支	水道事業収益	458億80百万円 412億50百万円 415億26百万円	営業収益(浄水給水収益等) 41,575百万円 ・有収水量 511百万m <sup>3</sup> (前年度比 △6百万m <sup>3</sup> ) (水量による減△472百万円、消費税による増1,150百万円) 営業外収益(長期前受金戻入等) 3,114百万円 特別利益(退職給与引当金戻入等) 1,191百万円
	水道事業費用	419億18百万円 380億88百万円 370億55百万円	営業費用(減価償却費、動力費、薬品費、修繕費等) 35,137百万円 営業外費用(企業債利息等) 4,764百万円 特別損失(減損会計導入等) 1,817百万円
資本的収支	水道事業資本的収入	127億76百万円 92億91百万円 91億80百万円	企業債 11,064百万円 国庫補助金 1,459百万円
	水道事業資本的支出	352億60百万円 329億9百万円 282億12百万円	建設改良費(改良費等) 24,064百万円 企業債償還金 11,142百万円

※ 単年度損益	27億96百万円 23億58百万円 40億61百万円
---------	----------------------------------

※消費税及び地方消費税を除いた収益的収支の差額

平成26年度主要事業の概要

[ 水 道 事 業 会 計 ]

上段 平成26当初  
 中段 平成25当初  
 下段 平成25最終

事業名	事業費	主な事業内容の説明
<b>I. 安定供給</b>		
1. 改良更新事業の推進	206億51百万円 162億02百万円 112億61百万円	<p>施設の耐震化や老朽施設の更新、供給系統の二重化など府内受水市町村への安定供給を維持するとともに、災害に強い水道施設の整備を進めるため、浄水・送水施設等の改良更新事業を着実に推進する。</p> <p>(1) 震災対策 <span style="float:right">99億25百万円</span></p> <p>震災時においても最低限の社会経済活動を維持できる信頼性の高い水道システムを整備する。</p> <p>① 災害に対する安全性の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バイパス送水管の整備                          (千里幹線【新】、藤井寺～泉北)</li> <li>・系統連絡送水管の整備                          (上小阪～枚岡、庭窪～諸口、庭窪～万博)</li> <li>・松原ポンプ場築造工事</li> </ul> <p>② 既設建造物の耐震化</p> <p>ア) 浄水池の耐震化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・千里浄水池築造工事</li> <li>・万博公園浄水施設浄水池耐震補強工事</li> </ul> <p>イ) 水管橋の耐震化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水管橋耐震補強工事</li> </ul> <p>(2) 安定化対策 <span style="float:right">49億31百万円</span></p> <p>安定的な水処理業務等を行えるよう、施設整備を実施する。</p> <p>① 市町村水道との連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・送水管布設工事(河南連絡管)</li> <li>・送水管布設土質調査委託(河南連絡管)</li> <li>・送水管布設実施設計委託(河南連絡管)</li> <li>・送水管布設用地測量委託(河南連絡管)</li> <li>・分岐改良工事</li> <li>・あんしん給水栓改良工事</li> </ul> <p>② 水道施設のセキュリティー対策の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・庭窪浄水場防犯設備整備維持事業【新】</li> </ul> <p>③ その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・庭窪浄水場非常用自家発電施設整備維持事業</li> <li>・村野浄水場非常用発電施設整備維持事業</li> <li>・村野浄水場階層系浄水施設沈澱池傾斜管改良工事</li> </ul> <p>(3) 老朽化対策 <span style="float:right">42億51百万円</span></p> <p>安定かつ効率的な施設運用が行えるよう、老朽化施設の改良更新を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・磯島取水場 活性炭注入棟建築工事</li> <li>・磯島取水場旧導水ポンプ改良工事</li> <li>・村野浄水場監視制御設備整備維持事業</li> </ul>

注) 【新】は平成26年度新規事業

上段 平成26当初  
 中段 平成25当初  
 下段 平成25最終

事業名	事業費	主な事業内容の説明
<b>I. 安定供給（続き）</b>		
2. 計画的な整備事業の推進          3. 災害対策の取組みの強化	18百万円 — —   2百万円 10百万円 10百万円	(1) 総合的な施設整備計画の策定 18百万円 将来水需要の減少に対応した適切な施設規模や、優先度・重要度を勘案した総合的な施設整備計画を策定する。  ・水需要予測業務委託 4百万円 ・第3期中期整備事業計画作成等業務委託 14百万円  (1) 他団体との連携・応急復旧体制の強化 2百万円 南海トラフ巨大地震の影響が少ない遠隔事業体との災害時相互応援協定を締結し、災害発生時の応急復旧・応急給水体制を強化するとともに、応急給水資材等を配備する。  ・遠隔事業体との相互応援協定締結及び危機管理対策費【新】 2百万円
<b>II. 安全・安心で良質な水</b>		
1. 水処理課題への対応          2. 水質管理の共同化の推進          3. おいしい水のPR	0百万円 3億11百万円 3億11百万円       2億11百万円 2億14百万円 2億14百万円       8百万円 7百万円 7百万円	(1) 水処理課題への対応 0百万円 (H26～H29債務事業) 既存の高度浄水処理に「後ろ過」を追加することで、より効率的・安定的な浄水処理を行い、高品質を確保する。  ・庭窪浄水場後ろ過棟築造工事【新】  (1) 市町村水質共同検査 61百万円 水質管理センターにおいて、企業団構成市町村水道における水質検査を共同処理する。  (2) 河南水質管理ステーションの運営 1億50百万円 河南地域（富田林市、河内長野市、松原市、柏原市、羽曳野市、藤井寺市、大阪狭山市、太子町、河南町、千早赤阪村）における水質管理業務を共同処理する。  (1) 市町村との共同PR（利き水会の開催） 6百万円 市町村でのイベント等において、高度浄水処理水と市販飲料水の飲み比べ（利き水）を行うことにより、企業団や受水市町村の取組みをPRする。  (2) 出かける浄水場の実施 2百万円 企業団職員が府内小学校に出向き「安全でおいしい水づくり」について学習の機会を提供する。

注) 【新】は平成26年度新規事業

上段 平成26当初  
 中段 平成25当初  
 下段 平成25最終

事業名	事業費	主な事業内容の説明
<b>Ⅲ. 持続可能な事業運営</b>		
1. 広域的な事業運営	2億63百万円 2億71百万円 2億71百万円 (※ 再掲分含む)	(1) 広域化の調査検討 30百万円 ブロック単位での広域化調査及び、個別市町村との統合に係る計画の策定を行う。 (2) 事務の共同処理 ・ 災害用備蓄水の共同製作 8百万円 (7団体 約6万2千本) ・ 河南水質管理ステーションの運営 1億50百万円 (再掲) (3) 市町村との連携拡大 9百万円 ・ 河南町大宝高区配水池耐震化実施設計 ・ 藤井寺市道明寺浄水場更新実施設計【新】 ・ 島本町大藪浄水場監視制御設備等更新実施設計【新】
<b>Ⅳ. 環境保全</b>		
1. 廃棄物の有効活用の推進及び適正処理	9億3百万円 3億26百万円 3億26百万円	(1) 水道残渣の有効活用の推進 903百万円 ・ 村野浄水場水道残渣有効利用関連施設整備運営事業
2. 環境に優しい水道事業体を目指す取組み	2百万円 2百万円 2百万円 (※ 再掲分)	(1) 環境学習の実施 2百万円 ・ 出かける浄水場の実施 (再掲)
<b>Ⅴ. 国際貢献</b>		
1. タイMWAパートナーシップ協定に基づく技術交流	4百万円 4百万円 4百万円	(1) タイ王国首都圏水道公社 (MWA) との技術交流の取組み 4百万円

注) 【新】は平成26年度新規事業

**大阪広域水道企業団 平成26年度当初予算案の概要**

**予算額(収益的支出と資本的支出の合計額)**

工業用水道事業会計	平成26年度当初予算額	148億10百万円
	平成25年度当初予算額	125億30百万円
	平成25年度最終予算額	113億35百万円
	前年度比 (26年度当初/25年度当初)	118.2%

前年当初比 22億80百万円

(主な増減要因) 収益的支出 ・動力費 51百万円(電気料金:燃料費調整単価上昇による増)  
 ・減価償却費 3億300万円(みなし償却制度廃止による増)  
 資本的支出 ・増補改良費 16億500万円(中期整備事業計画に基づく改良事業費の増)

上段 平成26当初  
 中段 平成25当初  
 下段 平成25最終

事業名		事業費	主な内容
収益的収支	工業用水道事業収益	96億27百万円 93億29百万円 92億83百万円	営業収益(工業用水給水料金等) 8,486百万円 ・基本使用水量467,000m <sup>3</sup> /日、使用水量277,800m <sup>3</sup> /日、超過水量9,200m <sup>3</sup> /日 (水量による減△289百万円、消費税による増226百万円) 営業外収益(長期前受金戻入等) 777百万円 特別利益(退職給与引当金戻入等) 364百万円 (前期比△440百万円:減価廃止負担金の減△769百万円)
	工業用水道事業費用	70億34百万円 69億18百万円 64億7百万円	営業費用(減価償却費、動力費、薬品費、修繕費等) 6,419百万円 営業外費用(企業債利息等) 471百万円 特別損失(貸倒引当金繰入等) 74百万円
資本的収支	工業用水道事業資本的収入	16億40百万円 11億37百万円 11億37百万円	投資有価証券償還金 1,500百万円 工事負担金 102百万円
	工業用水道事業資本的支出	77億76百万円 56億12百万円 49億28百万円	建設改良費(増補改良費等) 5,323百万円 企業債償還金 953百万円 投資有価証券 1,500百万円

※ 単年度損益	22億32百万円 22億43百万円 28億39百万円
---------	----------------------------------

※消費税及び地方消費税を除いた収益的収支の差額

平成26年度主要事業の概要

〔 工 業 用 水 道 事 業 会 計 〕

上段 平成26当初  
 中段 平成25当初  
 下段 平成25最終

事業名	事業費	主な事業内容の説明
<b>I. 安定供給</b>		
1. 改良更新事業の推進	50億96百万円 35億43百万円 30億22百万円	<p>工業用水の安定供給を通じて、産業基盤施設としての役割を果たして行くため、特に優先して整備すべき施設から効率的に整備する。</p> <p>(1) 震災対策 <span style="float:right">2億18百万円</span></p> <p>① 既設構造物の耐震化              ・水管橋下部耐震補強工事              ② 災害に対する安全性の強化              ・配水管布設工事〔パイパス・堺市 3・4工区〕              〔パイパス・新家～大泉〕</p> <p>(2) 安定化対策 <span style="float:right">14億60百万円</span></p> <p>・八尾ポンプ場非常用発電施設整備維持事業              ・八尾ポンプ場管路弁設置工事              ・大庭浄水場除マンガン施設築造工事【新】              ・大庭浄水場水質連続監視設備設置工事(油臭センサー)【新】              ・配水管布設工事〔守口北守口東連絡・寝屋川市〕              〔穂積ループ・茨木市〕              〔豊中・正雀連絡管・吹田市〕</p> <p>(3) 老朽化対策 <span style="float:right">32億34百万円</span></p> <p>・大庭浄水場 沈澱池更新関連工事              ・配水管布設工事(堺臨海6区)【新】              ・配水管布設替工事等              〔堺市、東大阪市、八尾市、泉佐野市、吹田市〕</p>
2. 計画的な整備事業の推進	11百万円 — —	<p>(1) 総合的な施設整備計画の策定 <span style="float:right">11百万円</span></p> <p>将来水需要の減少に対応した適切な施設規模や、優先度・重要度を勘案した総合的な施設整備計画を策定する。</p> <p>・第3期中期整備事業計画作成等業務委託</p>

注) 【新】は平成26年度新規事業



# 遠隔地の水道事業体との相互応援協定締結について

## ～ 広域的災害への備え ～

### 1 事業概要

震災等の大規模災害が発生した場合、被害が甚大かつ広範囲に及ぶため、各水道事業体単独では対応が困難になります。このため、企業団では、災害時の応急給水や応急復旧が迅速かつ円滑に実施できるよう、府内各市町村や大阪市等の水道事業体、近畿圏の大規模水道用水供給事業体と相互応援協定や覚書を締結し、協力体制を構築しています。

しかし、東日本大震災のような広域的な災害が発生した場合は、近畿圏の事業体のみでは対応が困難となることから、遠隔地の水道事業体との協力体制を構築することが必要となります。

そこで、平成26年度中に関東圏の大規模水道用水供給事業体等との相互応援協定締結を目指し、広域的な災害発生時における応急復旧及び応急給水体制の充実を図っていきます。

#### ◇相互応援協定（平成26年度）の概要

- ・ 応急給水及び施設の応急復旧に必要な資機材、物資及び車両等の提供
- ・ 応急給水及び施設の応急復旧に必要な職員の派遣
- ・ 協定締結事業体間での相互応援訓練の実施

### 2 事業費

平成26年度当初予算（案） 1,778千円

- ・ 協定締結に伴い必要となる資機材等の準備
- ・ 遠隔地での相互応援訓練の実施に係る費用等

# 庭窪浄水場 後ろ過施設の整備について

## ～新たな水処理課題への対応～

### 1 事業概要

企業団では、平成 10 年の高度浄水処理導入後、カビ臭やトリハロメタン等の微量有機物質を除去し、おいしい水の要件の水質目標も十分に満たす高度浄水処理水の供給を行ってきましたが、施設導入後にオゾン処理の副生成物である「臭素酸」が新たに水質基準に設定され、その基準を満たすため、オゾンの注入率を抑制することが必要となりました。

その結果、粒状活性炭吸着池内で貝類等（幼生）が発見されるなど、生物発生の抑制効果が低下したため、浄水への漏出リスクへの対応が課題となっています。また、粒状活性炭の経年劣化（微粉炭化の進行）に伴う浄水への漏出リスクへの対応も必要となっています。

現在、粒状活性炭吸着池内で発生する生物に対しては、有塩素水（1～5 mg/l 程度）による洗浄により発生を抑制していますが、粒状活性炭の吸着性能の低下が進行するなどの課題も生じています。

庭窪浄水場では、全ての浄水施設が更新済（耐震化済）であり、かつ、貝類等の発生頻度が他の浄水場より高いため、先行して粒状活性炭吸着池の後に「ろ過処理」を導入することとしました。



【導入効果】 ・貝類及び微粉炭の浄水への漏出のリスクの最小化が可能  
・有塩素水による洗浄が不要となり、粒状活性炭吸着性能の低下抑制が期待できる

※ 村野及び三島（万博）浄水場については、来年度から最適な浄水処理プロセスの検討・実験を行い、本格的な施設更新に合わせて浄水処理フローを見直すとともに、将来需要に合わせて施設能力を見直す。

### 2 スケジュール等

実験・設計：平成 25～26 年度

工事期間：平成 26～29 年度（29 年度通水予定）

対象水量：20 万 m<sup>3</sup>/日

処理方式：横型加圧式ろ過（急速ろ過）

沈澱→生物処理→ろ過→オゾン→粒状活性炭吸着池→ろ過

### 3 事業費

平成 26 年度当初予算（案） 0 千円（総事業費【概算 約 53 億円】）

# 市町村水道事業の業務(設計・工事)を3件受託

～ 市町村水道事業を支援 ～

## 1 受託の背景等

府域の水道事業は、水需要の減少に伴う料金収入の減少をはじめ、老朽化した水道施設の更新や耐震化等に伴う支出の増加、団塊世代の職員の退職による技術継承問題など、厳しい経営環境の中にあります。

企業団ではこのような課題に対応し、府域水道事業の経営の効率化や技術力を確保していくため、水道事業の受託・技術的支援を行うこととしており、市町村水道事業の個別業務(設計・工事)の受託を平成25年度から開始しました。

平成25年度は1件を受託しており、平成26年度に新たに2件を受託し、合計3件の設計・工事を実施します。

## 2 事業概要

### (1) 平成25年度からの継続事業

#### ① 河南町 大宝低区及び高区配水池の耐震化に係る実施設計・工事

・事業費 平成26年度当初予算(案) 6,225千円(総事業費【概算】 約3～4億円)

(河南町からの委託料収入により実施)

・事業スケジュール(予定)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
低区 実施設計	→			
高区 実施設計		→		
低区 工事			→	
高区 工事				→

### (2) 平成26年度からの新規事業

#### ① 藤井寺市 道明寺浄水場の更新に係る実施設計・工事

・事業費 平成26年度当初予算(案) 3,190千円(総事業費【概算】 13億円程度)

※ 平成26～27年度は債務事業(平成27年度分: 88,260千円)

(藤井寺市からの委託料収入により実施)

・事業スケジュール(予定)

	平成26年度	平成27年度	平成28～32年度
調査	→		
実施設計	→	→	
工事			→

#### ② 島本町 大藪浄水場 監視制御設備等の更新に係る実施設計・工事

・事業費 平成26年度当初予算(案) 0円(総事業費【概算】 約4～5億円)

※ 平成26～27年度は債務事業(平成27年度分: 7,128千円)

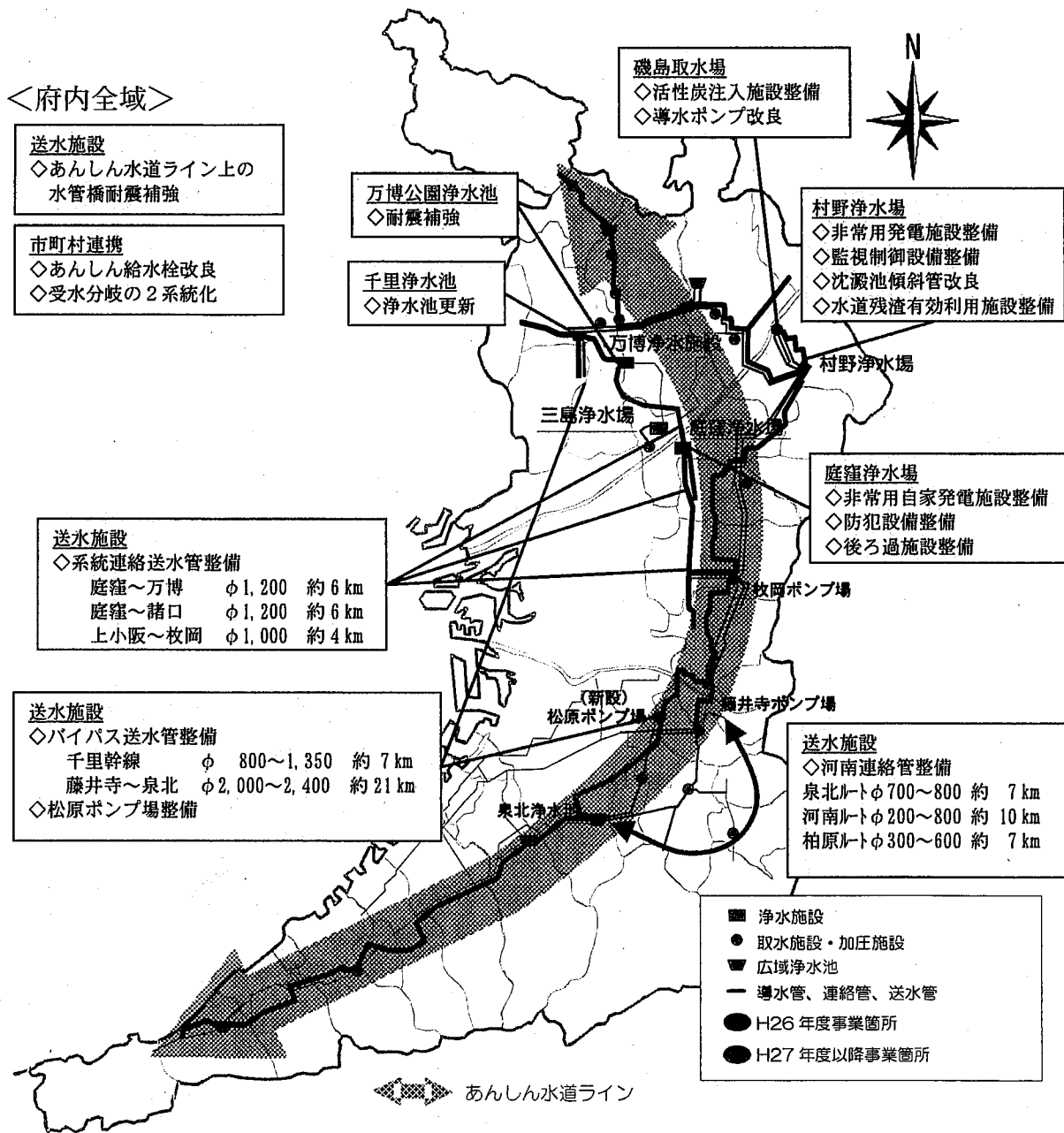
(島本町からの委託料収入により実施)

・事業スケジュール(予定)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
実施設計	→	→		
工事			→	→



平成26年度の主要事業（水道事業）



平成26年度の主要事業（工業用水道事業）

**配水管路整備**  
 ◇配水管路のループ化  
 ・守口北守口東連絡管（寝屋川市）  
 ・穂積ループ（茨木市）  
 ・豊中・正雀連絡管（吹田市）

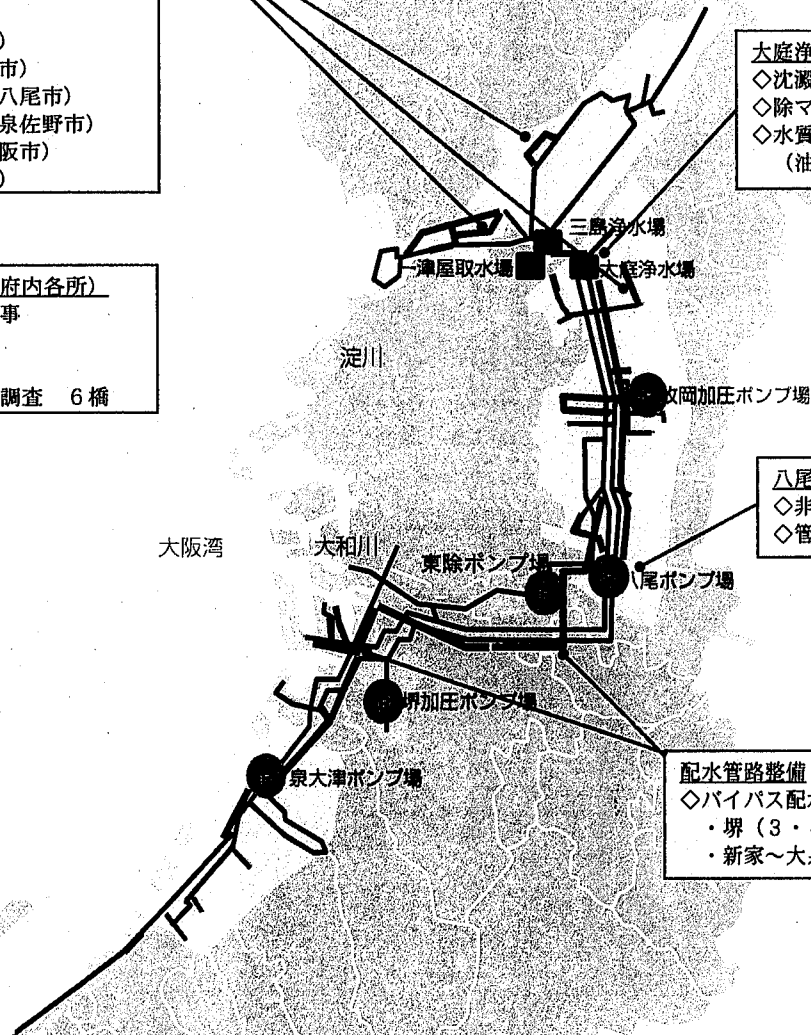
**配水管路整備（府内各所）**  
 ◇老朽管更新  
 ・堺臨海6区（堺市）  
 ・堺2次1期管（堺市）  
 ・八尾中央線分岐（八尾市）  
 ・東南部工水本管（泉佐野市）  
 ・布施北分岐（東大阪市）  
 ・豊中幹線（吹田市）

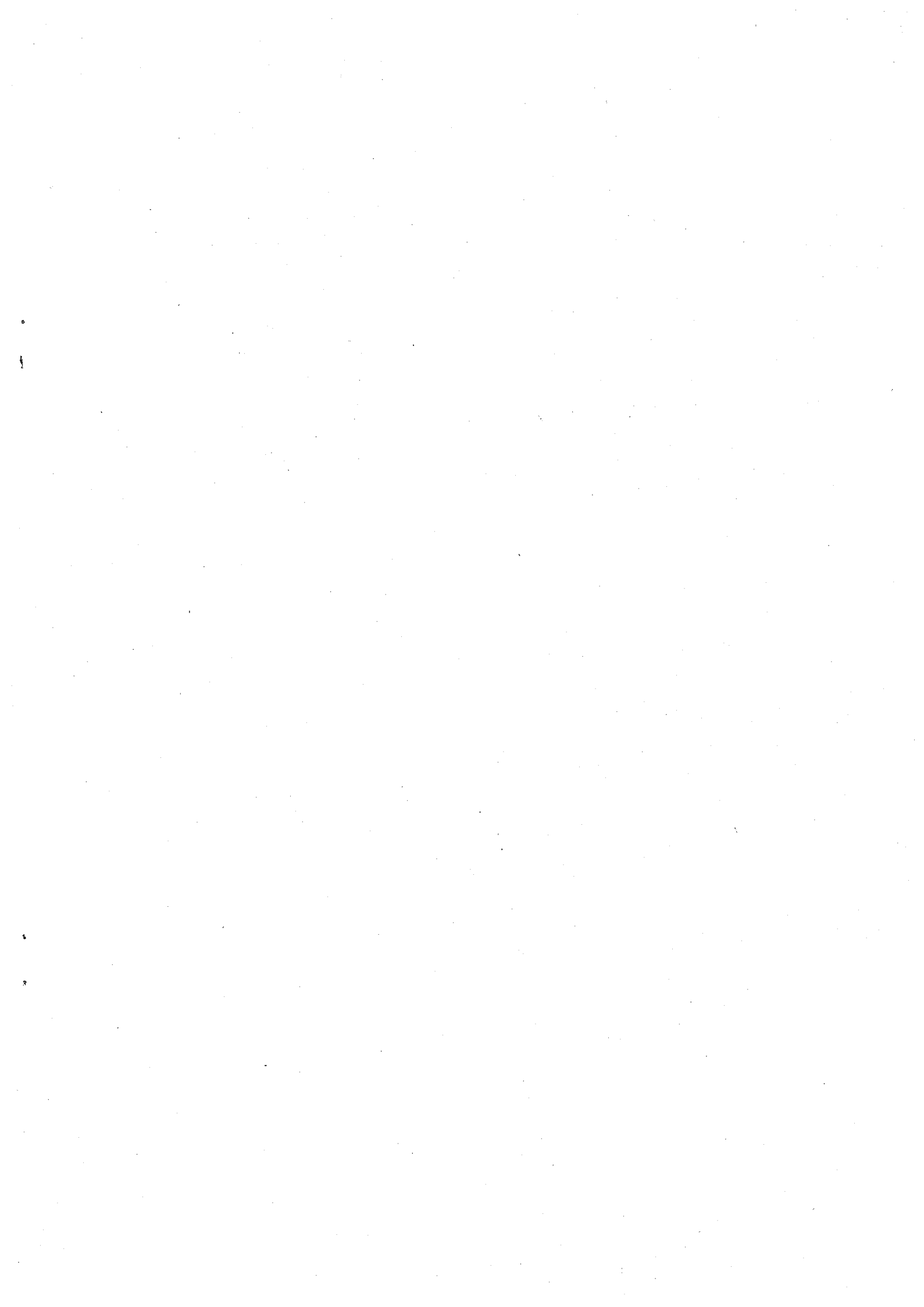
**既設構造物の耐震化（府内各所）**  
 ◇水管橋の耐震補強工事  
 ・高槻市 1橋  
 ・摂津市 1橋  
 他基本設計、土質調査 6橋

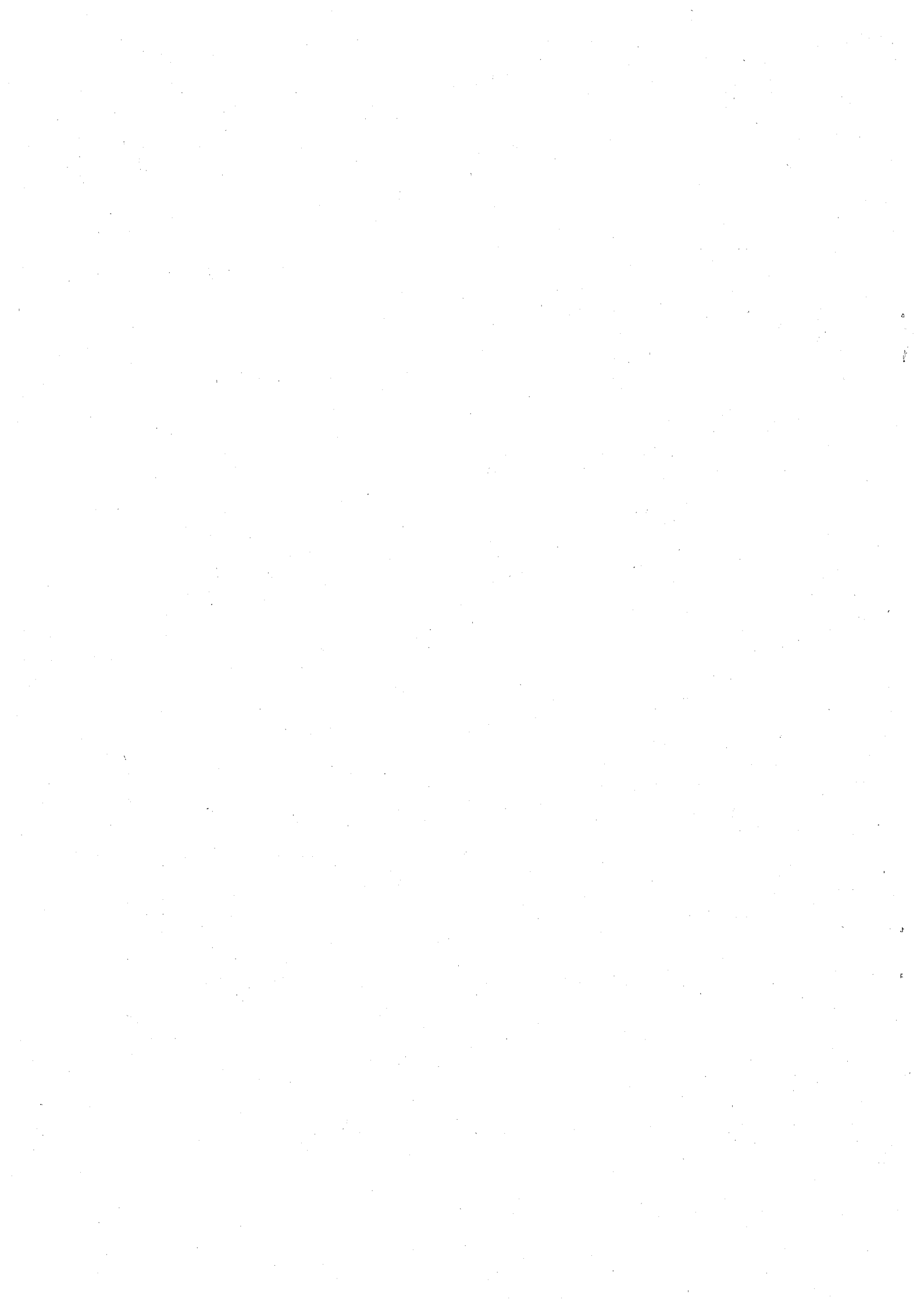
**大庭浄水場**  
 ◇沈澱池更新  
 ◇除マンガン施設整備  
 ◇水質連続監視設備  
 （油臭センサー）設置

**八尾ポンプ場**  
 ◇非常用発電施設整備  
 ◇管路弁設置

**配水管路整備**  
 ◇バイパス配水管  
 ・堺（3・4工区）  
 ・新家～大泉









給与等の改定について【大阪広域水道企業団】

○ 提案内容

1. 給与改定

- ・ 平成 25 年度大阪府人事委員会勧告に基づき実施するが、実施時期は、平成 25 年 12 月からとする。

～月例給の引き上げ 9,856 円 (+2.56%)～

- ・ 給料表に定める給料月額引き上げ
- ・ 地域手当支給割合の引き上げ (10%⇒11%)
- ・ 管理職手当の引き上げ (平成 24 年度水準へ)

2. 給料カット

- ・ 現行の給料カットについては、規定どおり今年度末で終了とする。
- ・ 平成 26 年度の 1 年間については、以下のとおり実施する。

～平成 26 年度のカット率～

	現行カット率	⇒	平成 26 年度カット率
非管理職	3%	⇒	0.7%
	5%	⇒	1.1%
	7%	⇒	1.5%
	9%	⇒	1.9%
管理職 (理事級以外)	11.5%	⇒	2.5%
管理職 (理事級)	14%	⇒	3.1%

3. 上記取り組みによる影響額

- ・ 平成 25 年度分 27 百万円
- ・ 平成 26 年度分 165 百万円

○ 取り組みの視点 (給料カットの理由)

現行の給料カットについては、今年度末までの時限措置であることから、規定どおり今年度末で終了する。企業団の給与制度は、大阪府に準拠していることから、今回の改定についても大阪府と同様の措置をとるものとする。

